

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 にここ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 16日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①会議の場で自分の思っていることを発言できる ②パートや正規に関係なく利用者の支援に一生懸命なところ ③働く環境が良い雰囲気づくりがされていて、新規スタッフの方にも働きやすい職場である	①支援内容や進捗、活動などを細かく意見を募っている ②上記のこともあり、支援内容が共有され同じ方向を向くことができています ③初期段階で法人理念や事業所方針などを伝えたり、最初は特定の子供につくことで慣れてもらったり、積極的に声掛けをしている	①現状を引き継ぎつつ、各スタッフの意見を取り入れていく ②これからも、都度方向性を確認しながら支援にあたる ③新人教育・指導に関しては正規、パートでやり方が違ってもするので、法人全体として組織的に新人教育方法のシステムづくりができれば良い
2	①子供たちに一生懸命接することができている ②子供たちの年齢や障がいが違う中、関われる場がある ③子供の目線で関われることができています ④保護者との面談や送迎時の話し合いができています ⑤支援計画が細かくできており、支援共有できている	①支援内容を都度確認しているので支援しやすい ②「いろんな人がいて良い」ということが法人の方向性 ③保育士の存在や障がい児支援のプロ集団の意識づけをしている ④気になることがあれば、即時電話をして聞くこともある ⑤月一度の会議を基本に都度、支援について話し合っている	①引き継ぎノートの積極的活用やスタッフが目を通しやすいシステムづくりが必要 ②これからも法人理念を遵守する ③さらに知識を深めるための研修があると良い ④これからも親密な関係づくりを意識的に行う ⑤引き続き支援については都度確認しあう
3	①デイルームの掲示物がよく環境づくりができています ②公園が近くにあり良い環境にある ③基本となるヒヤリハットや個人情報の取り扱いを十分にできている	①月ごと(季節ごと)の掲示物や子供たちの制作物を掲示している ②立地的に恵まれているので、公園での活動は頻繁に行って、社会的なルール(挨拶や順番を待つなど)を学ぶ場になっている ③ヒヤリハットや個人情報の取り扱いについて周知できている	①制作については企画者が偏らないように、別に会議の場を設けている ②これからも公園の利用は続けるとともに“地域で生きる”ことを重点に考えた企画をする ③重点項目として挙げているこの二点は今後もしっかり行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	①一つのことを周知することができていない ②子供のアセスメントを行う ③全体のスタッフに向けて、今進めている工作等を周知できるようにすれば良い ④終了後の打ち合わせを必ずできるようにすれば良い	①スタッフがどうしても流動的になってしまう ②契約時のアセスメントと面談の聞き取りのみになってしまうことがある ③工作の担当を厳密には決めていない ④①と同様	①引継ぎノートに書いてあることをリーダーが確認し、引継ぎ事項として声に出して周知、ヒヤリハットは引継ぎノートに貼って共有を図る ②発達段階に合わせて、細かくアセスメントできると良い ③制作や活動についての会議の場を設け始めている ④リーダーとパート複数で行う
2	①親御さんと子供が関われるような会があると良い ②一般の子供との関りが希薄 ③スローステップですぐできるような支援目標があると良い ④障がいの度合いによって物足りなくなってしまう活動もある 皆が満足できるような支援、活動ができれば良い	①企画者が限られているため ②そういった機会を意図的に作り出せていないため ③一人ひとりの支援について多く、高く目標を見積もってしまう傾向があり、それを全体で咀嚼して煮詰められていない ④たくさんの方がいるので、全員に均等に寄り添った支援を提供することができていない	①親御さんと子供と一緒に参加できる企画の発案と実績作り ②子育て支援センターや小学校との連携づくり ③子供の発達段階を細かく見て目標設定をする ④限られた活動の中で、どうしようか“この子にとっての支援になるか”を考え提供する
3	①場所を分けた環境づくりをする ②机を畳んだり、片づけをし環境づくりを行う ③トイレと洗面所の改善 ④災害時備蓄や防犯の環境についてもう一度考える ⑤衛生面の徹底をする	①活動や子供の状態を考えた部屋割りになっていない ②①と同様、活動や支援に合わせた環境づくりが必要 ③現状、トイレ、洗面所ともに2基 ④各種訓練の実施や保護者への周知が必要 ⑤コロナが落ち着き、衛生面での意識が薄れ始めている	①短期入所事業所のスペース等を有効活用する ②子供たちがケガをしないように環境づくりをおこなう ③事業所の増築、改築も視野に入れる ④必要な訓練の実施と保護者への周知の徹底 ⑤改めて衛生面の意識づけをおこなう

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にこここ			
○保護者評価実施期間	2025年 1月 27日		～	2025年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 16日		～	2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	①会議の場で自分の思っていることを発言できる ②パートや正規に関係なく利用者の支援に一生懸命なところ ③働く場の環境が良い雰囲気づくりがされていて、新規スタッフの方にも働きやすい職場である	①支援内容や進捗、活動などを細かく意見を募っている ②上記のこともあり、支援内容が共有され同じ方向を向くことができています ③初期段階で法人理念や事業所方針などを伝えたり、最初は特定の子供につくことで慣れてもらったり、積極的に声掛けをしている	①現状を引き継ぎつつ、各スタッフの意見を取り入れていく ②これからも、都度方向性を確認しながら支援にあたる ③新人教育・指導に関しては正規、パートでやり方が違ってもするので、法人全体として組織的に新人教育方法のシステムづくりができれば良い
2	①子供たちに一生懸命接することができている ②子供たちの年齢や障がいが違う中、関われる場がある ③子供の目線で関われることができています ④保護者との面談や送迎時の話し合いができています ⑤支援計画が細かくできており、支援共有できている	①支援内容を都度確認しているので支援しやすい ②「いろんな人がいて良い」ということが法人の方向性 ③保育士の存在や障がい児支援のプロ集団の意識づけをしている ④気になることがあれば、即時電話をして聞くこともある ⑤月一度の会議を基本に都度、支援について話し合っている	①引き継ぎノートの積極的活用やスタッフが目を通しやすいシステムづくりが必要 ②これからも法人理念を遵守する ③さらに知識を深めるための研修があると良い ④これからも親密な関係づくりを意識的に行う ⑤引き続き支援については都度確認しあう
3	①デイルームの掲示物がよく環境づくりができています ②公園が近くにあり良い環境にある ③基本となるヒヤリハットや個人情報の取り扱いを十分にできている	①月ごと(季節ごと)の掲示物や子供たちの制作物を掲示している ②立地的に恵まれているので、公園での活動は頻繁に行って、社会的なルール(挨拶や順番を待つなど)を学ぶ場になっている ③ヒヤリハットや個人情報の取り扱いについて周知できている	①制作については企画者が偏らないように、別に会議の場を設けている ②これからも公園の利用は続けるとともに“地域で生きる”ことを重点に考えた企画をする ③重点項目として挙げているこの二点は今後もしっかり行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	①一つのことを周知することができていない ②子供のアセスメントを行う ③全体のスタッフに向けて、今進めている工作等を周知できるようにすれば良い ④終了後の打ち合わせを必ずできるようにすれば良い	①スタッフがどうしても流動的になってしまう ②契約時のアセスメントと面談の聞き取りのみになってしまうことがある ③工作の担当を厳密には決めていない ④①と同様	①引継ぎノートに書いてあることをリーダーが確認し、引継ぎ事項として声に出して周知、ヒヤリハットは引継ぎノートに貼って共有を図る ②発達段階に合わせて、細かくアセスメントできると良い ③制作や活動についての会議の場を設け始めている ④リーダーとパート複数で行う
2	①親御さんと子供が関われるような会があると良い ②一般の子供との関りが希薄 ③スローステップですぐできるような支援目標があると良い ④障がいの度合いによって物足りなくなってしまう活動もある 皆が満足できるような支援、活動ができれば良い	①企画者が限られているため ②そういった機会を意図的に作り出せていないため ③一人ひとりの支援について多く、高く目標を見積もってしまう傾向があり、それを全体で咀嚼して煮詰められていない ④たくさんの方がいるので、全員に均等に寄り添った支援を提供することができていない	①親御さんと子供と一緒に参加できる企画の発案と実績作り ②子育て支援センターや小学校との連携づくり ③子供の発達段階を細かく見て目標設定をする ④限られた活動の中で、どうしようか“この子にとっての支援になるか”を考え提供する
3	①場所を分けた環境づくりをする ②机を畳んだり、片づけをし環境づくりを行う ③トイレと洗面所の改善 ④災害時備蓄や防犯の環境についてもう一度考える ⑤衛生面の徹底をする	①活動や子供の状態を考えた部屋割りになっていない ②①と同様、活動や支援に合わせた環境づくりが必要 ③現状、トイレ、洗面所ともに2基 ④各種訓練の実施や保護者への周知が必要 ⑤コロナが落ち着き、衛生面での意識が薄れ始めている	①短期入所事業所のスペース等を有効活用する ②子供たちがケガをしないように環境づくりをおこなう ③事業所の増築、改築も視野に入れる ④必要な訓練の実施と保護者への周知の徹底 ⑤改めて衛生面の意識づけをおこなう

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 ここにこ

公表日 2025年 3月 30日

2025年 3月 日 時点

利用児童数 1名

回収数 1名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1	0	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	1	0	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	1	0	0	0		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	1	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	0	0	0		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	0	0	0			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	1	0	0	0		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 ここにこ

公表日 2025年 3月 30日

2025年 2月 28日 時点

利用児童数 26名

回収数 18名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	17	0	0	1		
	2	14	1	0	3	一人ひとりによって、障がいの程度も違うので、もう少ししても良いと思う	
	3	17	0	0	1		
	4	18	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5	17	1	0	0		
	6	16	1	0	1		
	7	16	1	0	1		
	8	16	1	0	1	ガイドラインや移行支援など専門的なことがよく分からない。	
	9	16	0	0	2		
	10	16	0	0	2		
	11	2	6	5	5	公園などで他の子がいる中で遊ばせて下さるので、マナーやルールが身についてきています。	
保護者 への 説明等	12	18	0	0	0		
	13	18	0	0	0		
	14	6	5	0	7		
	15	17	0	0	1		
	16	17	0	0	1		
	17	18	0	0	0		
	18	10	3	2	3	遠足の機会を作って下さり、まだ参加は出来ていないのですが、参加してみたいな、と楽しみの一つです。今年度は親子遠足の企画があり、とても良いと思った。 ※未回答1	
19	14	0	0	3			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	0	0	1	※未回答2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	2	※未回答1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	1	※未回答1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	4	2	5	※未回答1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2	0	8	※未回答1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2	※未回答1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1	※未回答1 まだそのような状況になったことがない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	※未回答1	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	0	0	0	※未回答1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	※未回答1	

公表	事業所における自己評価結果（児童発達支援）
----	-----------------------

事業所名	ここここ		公表日	2025年 3月 30日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	5	利用定員が10名（一日当たりの最大受入数15名）。デイルームも適切なスペースを確保している。 支援員が少ないときは他事業所からの応援者をお願いしてくれている。 活動内容によっては適正な時もある。	その日にもよると思う。 最大人数の利用者の場合、室内活動では少々狭く動きの強い利用者はより動きが制限されてしまっているように思う。 「放課後等デイサービス」のご利用者も同時期帯にいるため、現状のデイルームの広さでは狭いと感じることがある。 児発の利用者を増やしていくかも考えたい。 パニックや不穏になった時クールダウンできる場が欲しい。 静養室が多目的利用されている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	4	目が切れてしまうことはあるものの、職員数という点では十分。 午前中支援はないので、適切。	児童の人数による。 基本は配置数は適切であるが、足りない場面も見られ、人数だけの問題ではないと思う。 受け入れる数が多くなっているため、スタッフも多いと対応しやすい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	4	デイルームは見通しが良い構造になっている。またバリアフリーに関しては玄関のスロープがある。 肢体不自由の児童の利用が少ないがバリアフリーの構造にはなっている。	駐車場が砂利で穴が大きくなり、水たまりもすごい。 玄関、手洗い場、トイレ、事務室への扉等改善必要箇所はある。 風景化している面もありリニューアルも必要かと。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12	2	月～金で同法人のカフェスタッフと利用者が掃除を行っている。金曜の夕方や祝日はここにスタッフが掃除を行っている。 毎日の掃除は行っているため、ある程度は清潔に保たれている。	動きの多い子供が多いときは危ないと思う時がある。 細かい箇所の掃除はもっと必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	5	基本は使用しないがパニックや気持ちを落ち着かせてもらう時にロッカールームを使用したことがあった。 スタッフの判断で個別に空いた部屋を利用しテンションを落ち着かせる場合等指導する場所はある。 一時避難場所の確保や中学生以上の着替えの場所の確保が出来ている。	不穏時に一人になれる場所が確保出来たらいい。 本来は静養室が使えると良いかと。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	4	※未回答1 会議での発言のしやすさがうれしい。 個別支援計画を定め、毎日の支援に活かしているとともに、月に一度の会議の場で振り返りを行っている。	分からない。 非常勤スタッフは業務改善については参画していない。 非常勤スタッフは未参加になりがちだが定例会議では広く話し合いはある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	会議での発言のしやすさがうれしい。 毎年、本アンケートを配布、回収、まとめをして、それについて会議等で振り返っている。 面談にて進学のこと等を話す機会がある。 アンケートの内容やお手紙、メール等は必ず確認し、今後に活かしていると思う。	分からない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	スタッフ会議や個別面談を行うことにより、業務改善を行っている。 会議での発言のしやすさがうれしい。 気になった部分についてはその時に、もしくは会議の場で提案し意見を集約し業務改善につなげている。 気になった部分についてはその時に、もしくは会議の場で提案し意見を集約し業務改善につなげている。 毎月児童の様子を共有し、成長を促している。 定例会議で活発な意見交換や問題解決案を出し合っている。	



	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	7	※未回答2	分からない。 苦情受付による第三者委員会はあるが外部評価は行っていない。 今後やっとならいいと思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	※未回答1 個別に研修を受講したり、法人全体研修や各委員会による研修を毎年行っている。	分からない。 新任研修はあるが非常勤スタッフだと事業所内で教えてもらえない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	4	※未回答1 ご家族と面談の場を設け、サービス等利用計画とも照らし合わせながら計画作成、公表をしている。 毎月、希望表に大まかにプログラムが書いてある。	現在はまだ公表できていない。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1	※未回答1 保護者と面談を行い、支援の変更をしている。前期後期と分けて計画作成している。成長につながる支援を保護者と共有している。 アセスメントや保護者への面談の中で出てきたことを元に作成している。	個々の利用者課題を話し合う会議は設けているが会議欠席者など全体的に、きちんと内容が伝えられているかが疑問。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12	2	担当スタッフが決定した後に、月1回の会議の際に日々の様子を聞き、その場の意見の元に決定しているように思う。 日々のスタッフ同士の会話やスタッフ会議の場での意見などを基に検討、反映している。 全員ではないが複数名関わっている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	個別支援会議を行い、スタッフ間で意見、共有をして支援につなげている。 個別支援計画の重点目標の一覧表を作り、それを基に日々の振り返り事項を日誌に記入している。	ある時とない時がある。 個々で話に挙がったことも共有してもらえるところとありがたい。 共有されているが、感じ方、捉え方が様々な一面があり、いつの間にか支援が変わることがある。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	4	※未回答1 契約時に必要なアセスメントを行い、日々の行動について確認している。 日々の申し送りや回覧等では周知されている。	分からない。 標準化されたツールは使用していない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	3	※未回答1 個別支援担当を中心に支援計画が作成され、非常勤スタッフにもしっかり伝達している。	分からない。 「移行支援」「地域支援」については不明。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	7	※未回答1	チームではなくその日のリーダーが活動プログラムの立案を行っている。 これからスタート。期待している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	5	日常的な活動プログラムだけではなく、新しい取り組みも行っている。 数人でリーダー業務を行っているため、固定化はしていないと思う。リーダー同士で話し合うこともある。	平日は同じ公園への外出が多い印象。 これからスタート。期待している。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	4	※未回答1 支援計画に個別、集団活動目標を記載して、支援をしている。 スタッフの裁量による場所もあるので、難しいところではあるが、やっていないという事はない。 児童発達支援を個々で行う努力をしている。 集団が多いが、適宜個別でも活動する場を設けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	毎日、その日の活動内容や支援について打ち合わせ後に支援開始している。	役割分担については、以前ほど出ていない気がする。



	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	11	※未回答1 短期入所事業併設のため、また送迎業務も併せて行っているため、支援後の打ち合わせは難しいので、日誌に記録を残したり、次回利用時前の打ち合わせ等で確認している。 複数人で話し合うはある。リーダーや所長への報告を通し他スタッフへも共有できる。申し送りやノートに書き込み全員に周知している。	必ず打ち合わせや振り返りが出来ているわけではない。 打ち合わせは書面で、一方通行なため部分的に「はい」。 実際に口頭で共有できるのが一部の職員に限られてしまう。 退勤時間が異なり、スタッフが全員集まることが少ない。 今後できるという。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	2	記録ノートや業務日誌に日々の支援記録を取り、改善につなげている。 記録を実施して支援に活かしている。	日々、活動後に記録はつけているものの、決まったスタッフのみの記入で確実性は疑問（全体の把握が出来ていない場合が多い）。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	3	相談支援事業所のモニタリング含め、事業所内でも定期的に振り返りを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	3	個別支援担当者が出席している。	分からない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	7	※未回答2	分からない。 連携支援体制は取れていない。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	6	※未回答3	該当する方がいないので行ってない。 まだ機会がない。 分からない。 情報共有や相互理解は図れていない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	3	※未回答3 現在は該当する方がいないが就学時の移行の際に情報共有をしたことがある。	まだ機会がない。 分からない。 送迎時に学校の先生とは話している様子だが、その後の伝達に乏しい。 情報共有や相互理解は図れていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	※未回答7	連携支援体制は取れていない。 分からない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	11	地域のフェス等で実践している。	そういった機会を今後設けたい。 公園等のみで交流がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	1	※未回答1 送迎時にその日の子供の状況を伝えている。 正規スタッフが連絡していると思う。 送迎時や連絡ノートや電話等のツールを使いながら行っている。	分からない。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	11	※未回答1	家族支援プログラムは今後、実施できる時間や場所が確保できれば行っていきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	※未回答4 契約時に説明をしている。	分からない。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	1	※未回答2 面談を通じて、または児童との直接の話し合いから意向を確認する機会を設けている。	分からない。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0	※未回答1 出来上がった個別支援計画書に必ず目を通していただき、了承を得るようにしている。 面談にて説明を行っている。	分からない。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	※未回答1 個別面談や必要時に行っていて、必要に応じて他スタッフにも相談する。	分からない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	7	※未回答2 今年度の秋に親子遠足を実施することで、保護者同士の交流が増え、実現できた。 親睦遠足でご兄弟を連れていらしている家族もあった。	全ての保護者が参加できる保護者会、イベント等が必要。 分からない。 実施しているが、参加人数が増える努力が必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	※未回答1 文書での伝達や、電話で直接話し合っていると思う。 相談や申し入れは気軽にできるような関係づくりを行っていて、苦情受付等についてもシステムを構築している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	12	1	※未回答1 連絡手段としてはLINEを使用。活動や行事の予定はにこめくだより（会報）や別紙にてご自宅へ発送している。 連絡体制の情報を発信しているのかわからないが、定期的な通信の発行はされていてスタッフ全員に回覧または配布してもらっている。 会報といった紙媒体に加え、Instagramで情報発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報の取り扱いには十分気を付けている。 氏名等書いてあるものは使用後に即シュレッダーにかけている。	個人情報については気を付けている様子だが、連絡ノートと一緒に遊んだりした子供の名前が記入されている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	口頭でやり取りできる場合は口頭で、難しい場合はジェスチャーを交えたり、Yes、Noの二択にしてみたり工夫はしていると思う。 連絡帳、LINE、メール、TEL、直接応対、色々な手段がある。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	9	※未回答1	まだ機会がない。 色々な行事の計画は増えつつあるが地域との関わりを持つことがない。 事業所創設以来の課題の一つで、来年度は実施したい。 法人としては行っているが、事業所としては行っていない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	防犯訓練、避難訓練、感染症研修を行っている。 各訓練は実施しはじめていて、必要な物も揃えたりもしている。	家族等との訓練は分からない。 研修はしているが、家族に周知しているかわからない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12	2	法人でBCPを作成している。避難訓練は年に2回行っている。 利用児童を交えた避難訓練を行っている。 訓練やグッズなど用意している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	2	その日の利用者の様子、注意点を支援前の打ち合わせで共有している。 予め利用契約時に服薬やてんかん発作があるかの情報は得ている。 薬事情報や薬預かり書などを提出していただいている。薬の使い方等も保護者から伝授されている。	正規スタッフは周知しているが非常勤スタッフには情報が乏しい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	4	※未回答1 予め利用契約時に食物アレルギーがあるかの情報は得ている。	分からない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	5	安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	安全計画の共有がまだできていない。 全員参加ではないので全体でできると良い。 安全管理は必須の項目。今後行いたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	6	※未回答1 父母の連絡先を聞いておき連絡が取れるようにしている。	まだ出来ていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	※未回答1 ヒヤリハットの共有、（同じミスをしてしまうこともあるが）対策は出来ている。	ヒヤリハットの報告はあるが、事前に防げることがある。 書く人、書かない人が大きく分かれる。ヒヤリとしたならば書くべき。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	2	※未回答1 虐待防止研修と身体拘束研修の2つの研修を行っている。	研修委員会による虐待防止の研修の印刷物で把握はしているが、何が虐待になるのか、はっきりとしたことは疑問。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	4	※未回答2 利用契約時に身体拘束についての同意書をお配りし、同意を得ている。	以前は支援計画の裏面に記載していたが、現在は記載していない。

公表

## 事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名		ここにこ				公表日		2025年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	7	机を使用しない分、スペースを多く取れている。	定員を上回る利用者がいる日や活動内容により適切でないときもある。接触事故にならないように把握したい。もう少しスペースにゆとりがあるといい。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		10	4	基本の配置数は適切。目が切れてしまうことはあるものの、職員数という点では十分。お友達同士で成長できる環境だと思う。	少ないと感じる時もある。利用の増減がその日にならないと分からないし、障がいの重さでも人数が適切かどうか分からない。マンツーマン対応が必要な子供に確実につけるように配置されるといい。			
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	5	デイルームは見通しが良い構造になっている。またバリアフリーに関しては玄関のスロープがある。肢体不自由の児童の利用が少ないがバリアフリーの構造にはなっている。	危ないと感じる場所もある。駐車場が砂利であることや室内の扉のつけ方など考える必要あり。トイレがもう一つあると支援しやすい。水道の数が少ない。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		12	2	月～金で同法人のカフェスタッフと利用者が掃除を行っている。金曜の夕方や祝日はここにこスタッフが掃除を行っている。机を片付けることで空間を広くする。	活動にもよる。もっと細かい場所まで行き届くとより清潔のなると思う。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		8	6	基本は使用しないがパニックや気持ちを落ち着かせてもらう時にロッカールームを使用したことがあった。一時避難場所の確保や中学生以上の着替えの場所の確保が出来ている。	原則、子供が個別に利用することは少なく、部屋も限られている。不穏時にクールダウンできる部屋があるといい。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	5	設定は主に正規スタッフが計画し、その月の内容を月一回の会議で話し合い共有している。支援会議を実施することでスタッフの意識づけにもなる。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	4	毎年、本アンケートを配布、回収、まとめをして、それについて会議等で振り返っている。面談にて保護者の言葉を聴く機会がある。	分からない。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	3	スタッフ会議や個別面談を行うことにより、業務改善を行っている。発言のしやすい会議が開かれているのが良い。気になった部分についてはその時に、もしくは会議の場で提案し意見を集約し業務改善につなげている。スタッフの考えが違う際、とことん話し合っって同じ方向を向いて支援するようにする。	スタッフ会議の中でも発言できることは嬉しく思うが、その場の様子も変わり、発言すべきだったか戸惑うことがあり難しい。個々に意見がある場合は特に機会は設けられていない。個々に上司やリーダー、担当者に質問している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	8	※未回答1	苦情受付による第三者委員会はいるが外部評価は行っていない。分からない。今後できたらいい。			
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	※未回答1 個別に研修を受講したり、法人全体研修や各委員会による研修を毎年行っている。	分からない。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	4	非常勤スタッフで出勤回数が少なくても、分かりやすく共有されるのがありがたい。月一度のスタッフ会議で公表されている。ご家族と面談の場を設け、サービス等利用計画とも照らし合わせながら計画作成、公表をしている。	現在はまだ公表できていない。適切なものは分からない。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	2	※未回答1 保護者と面談を行い、支援の変更をしている。前期後期と分けて計画作成している。非常勤スタッフで出勤回数が少なくても、分かりやすく共有されるのがありがたい。	分からない。アセスメントをどのような期間で行うか検討していきたい。			

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	3	※未回答1 非常勤スタッフで出勤回数が少なくても、分かりやすく共有されるのがありがたい。 日々のスタッフ同士の会話やスタッフ会議の場で出た意見などを基に検討、反映している。	共通理解をされているが、日々の支援となると温度差が大きい。 正規スタッフで計画し、その日のリーダーが中心に決めている。時には非常勤スタッフの意見や考えなど活動計画を決定するときに聞いてもらえたら、より支援が濃くなると思う。
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	2	個別支援会議を行い、スタッフ間で意見、共有をしている。 非常勤スタッフで出勤回数が少なくても、分かりやすく共有されるのがありがたい。 正規リーダーの決めた計画で進めている。 個別支援計画の重点目標の一覧表を作り、それを基に日々の振り返り事項を日誌に記入している。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	7	契約時に必要なアセスメントを行い、日々の行動について確認している。	分からない。 標準化されたツールは使用していない。 標準化されておらず、スタッフの周知も出ていない。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	5	個別支援担当を中心に支援計画が作成され、非常勤スタッフにもしっかり伝達している。	分からない。 地域支援の目標は記載されているが実施していない。 具体的支援内容はもう少し記載した方が良いと感じる。 「移行支援」「地域支援」については不明。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	8	※未回答1	分からない。 チームではなくその日のリーダーが活動プログラムの立案を行っている。 工作についての活動が増え、一定のスタッフでの立案が多く、その日その日の合間での工作で何を作るのかは周知すべき。 チームではしていない。非常勤スタッフは指示を受けて動く。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	4	※未回答1 平日の少ない時間での活動も幅広くなってきて良いと思う。 日常的な活動プログラムだけではなく、新しい取り組みもやっている。	分からない。 平日は同じ公園への外出が多い印象。 工夫しているとは思わない。 固定化してしまっているのも、色々なスタッフの考えを取り入れたい。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	3	支援計画に個別、集団活動目標を記載して、支援をしている。 スタッフの裁量によるところもあるので、難しいところではあるが、やっていないという事はない。 集団の中で、一人ひとりの児童の成長に合わせた支援をしている。	集団活動での計画はあるが、個人に対する支援は難しい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	1	支援前の打ち合わせは毎日していて、その場で質問、疑問点など分からない部分を出し、共有している。 短時間だが、児童の共有をしている。	リーダーが周知しているのは当たり前だが、非常勤スタッフには周知が乏しく少々グループができていて、ハードルが高いので工夫していくべき。 役割分担については、以前ほど出ていない気がする。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	10	※未回答1 短期入所事業併設のため、また送迎業務も併せて行っているため、支援後の打ち合わせは難しいので、日誌に記録を残したり、次回利用時前の打ち合わせ等で確認している。	必ず打ち合わせや振り返りが出来ているわけではない。 実際に口頭で共有できるのが一部の職員に限られてしまう。 打ち合わせは書面で、一方通行なため部分的に「はい」。 していない。 今後できたらいい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	3	※未回答1 記録ノートや業務日誌に日々の支援記録を取り、改善につなげている。	月一度の会議での確認で、日々の改善には乏しい。 記録をする人が決まっているので、記録の仕方を検討する必要がある。 記録はしているが、検証する機会が少ない。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	2	※未回答1 相談支援事業所のモニタリング含め、事業所内でも定期的に振り返りを行っている。 児童の様子をスタッフから聴き取り見直しをしている。	見直しはされているのだが、非常勤スタッフには伝わらない。 分からない。

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	5	出来ている。	地域交流の活動があまりされていない。 正規スタッフの指示で動くので分からない。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	5	例えば工作なら何色の画用紙を使う等の自己選択、決定が出来る支援をしている。 自己選択でなく全員が同じ行動が出来るように支援している。 そういった場面は多くはないが、選択肢がいくつかある時は、本人の意向を聞き取るようにはしている。	その子に合った活動ではなく、みんな同じことをやっている。 自己決定をする力を支援するが、家庭、学校の支援を求めすぎていて、独自の支援があり、その報告を父母に伝えていき“それなら家でもできる”と共感してもらえらる支援に努力したい。 今のところ自己決定できる子は少ない。 日課の流れになってしまう場面がある。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	3	個別支援担当者が出席している。	分からない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	6	※未回答2	分からない。 連携支援体制は取れていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	3	※未回答1 行事や下校時刻の確認をすることがある。 毎度、学校の先生と様子について等聞き取りはしている。 日々の様子や、下校時の対応などは毎回行われている。	分からない。 伝えて下さる方、そうでない方と学校の先生によるところもある。 保護者とのやり取りになってしまっているので、学校との情報共有をしたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	5	※未回答4	分からない。 情報共有は必要だと思うが、積極的には出来ていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	2	※未回答2 担当者会議で他事業所に支援内容の情報提供をしている。	分からない。 まだ機会がない。 情報共有は必要だと思うが、積極的には出来ていない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	9	※未回答1	分からない。 連携は取れていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	13		今後、地域の子供たちと交流が出来るようになると良い。 たまに会った地域の子と関りがあるくらいで活発に、は難しい。 少しずつでも機会を持てるとう良い経験になるのでは。 交流の機会をどのように持つのかを検討していく。 分からない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	12	※未回答1	勤務体制的に参加することが難しい。 分からない。 参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	2	※未回答1 送迎時にその日の子供の状況を伝えている。 送迎の際や電話連絡、面談などで話し合いはされていると思う。 保護者との話す場はないが、送迎時に課題を共有するようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	10	※未回答4 最近では遠足などに行った。	分からない。 家族支援プログラムは今後、実施できる時間や場所が確保できれば行っていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	※未回答4 契約時に説明をしている。	分からない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12	2	正規スタッフはやっているように思う。 面談を通じて意向を確認する機会を設けている。 スタッフの考えを押し付けないように話す場を設けて、面談等で意向を確認している。	分からない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12	2	正規スタッフはやっているように思う。 出来上がった個別支援計画書に必ず目を通していただき、了承を得るようにしている。	分からない。



保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	1	正規スタッフはやっているように思う。個別面談や必要時に行っている。悩みもスタッフで共有している。自分の考えだけではなく他のスタッフの意見も聴いて助言している。	分からない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	7	※未回答1 今年度の秋に親子遠足を実施することで、保護者同士の交流が増え、実現できた。遠足にて保護者同士の交流の機会を設けた。継続していき参加人数も増えるように努力する。	全ての保護者が参加できる保護者会、イベント等が必要。 分からない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	※未回答1 問題等が発生した場合は正規スタッフが直接電話連絡で話し対応していると思う。苦情に対応するシステムを構築している。	分からない。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	1	連絡手段としてはLINEを使用。活動や行事の予定ははこめくだより（会報）や別紙にてご自宅へ発送している。会報といった紙媒体に加え、Instagramで情報発信している。今年度はSNSを活用することで、保護者に活動を発信できた。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報の取り扱いには十分気を付けている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	1	口頭でやり取りできる場合は口頭で、難しい場合はジェスチャーを交えたり、Yes、Noの二択にしてみたり工夫はしていると思う。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	9	※未回答2	分からない。 まだ機会がない。 近所の方々を行事の時などに招待して理解を得ていきたい。 事業所創設以来の課題の一つで、来年度は実施したい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	2	防犯訓練、避難訓練、感染症研修を行っている。各訓練は実施しはじめていて、必要な物も揃えたりもしている。今後も訓練を実施していく。専門職にもアドバイスをもらえる環境を作る。	緊急時の保護者への連絡、子供の引き渡しの訓練もあると良い。 事故防止の研修はしていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	3	※未回答1 法人でBCPを作成している。避難訓練は年に2回行っている。利用児童を交えた避難訓練を行っている。	非常災害の時の非常食は確保すべき。 全員の利用者が参加できていないので、何度も訓練は必要。その後に問題点等スタッフ間で共有したい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	4	予め利用契約時に服薬やてんかん発作があるかの情報は得ている。	正規スタッフは把握しているが、非常勤スタッフは周知されていない、もしくはグループでは周知している様子がある為、改善は見られない。 支援前の打ち合わせで個別の特徴、最近の変わった様子などリーダーから話があり注意して支援している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	5	※未回答1 予め利用契約時に食物アレルギーがあるかの情報は得ている。	分からない。 児童の成長に合わせて聴き取りが必要。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	6	安全管理に必要な研修や訓練を行っている。	安全計画の共有がまだできていない。 消毒液、嘔吐対応セットが子供の手の届くところにあり、安全性に乏しい。 避難訓練や不審者侵入時の対応研修はしているが、その後の管理は十分でない。 安全管理は必須の項目。今後行いたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	7	※未回答1	分からない。 まだ出ていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	共有はしている。 月一度の会議の場でスタッフ全員で共有したり、会議前には回覧を回して周知している。ヒヤリハットの共有、（同じミスをしてしまうこともあるが）対策は出ている。	



53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	3	※未回答1 虐待防止研修と身体拘束研修の2つの研修を行っている。 委員会にて研修が行われている。	何が虐待で何が虐待でないのか判断が難しい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	4	利用契約時に身体拘束についての同意書をお配りし、同意を得ている。	以前は支援計画の裏面に記載していたが、現在は記載していない。